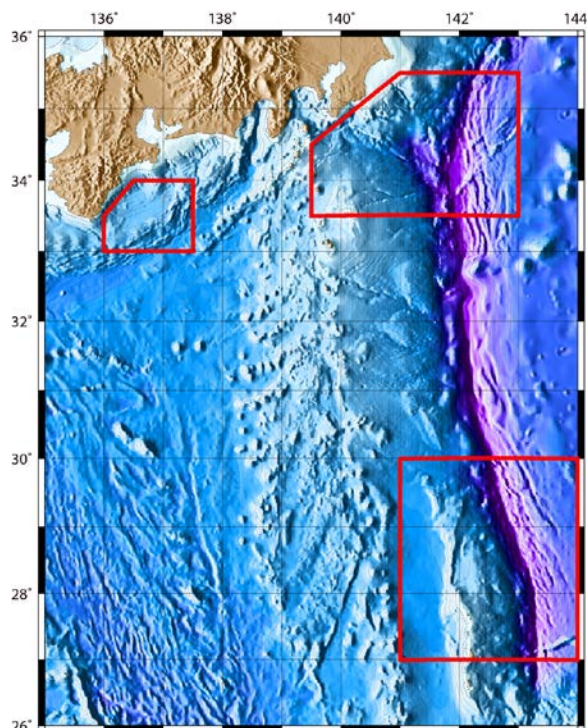


## マルチチャンネル反射法探査の測線提案型公募について

独立行政法人海洋研究開発機構  
海洋工学センター運航管理部

独立行政法人海洋研究開発機構（以下、「機構」という。）では「高精度地殻構造探査に関わる研究」を推進しており、平成25年度に関しては熊野沖、房総沖、小笠原海域を中心に調査の実施を予定しています。つきましては、機構所有の「かいいい」マルチチャンネル反射法地震探査システムを用いて行う構造探査航海について、当該海域での地殻構造データの取得を希望する課題を、「測線提案型」として募集いたします。採択にあたっては、以下の条件を適用いたします。

1. IODP掘削提案が提出済み、あるいは準備中であり、必要な構造探査が終了していないこと。
2. 機構が実施する構造探査航海の枠組みの下、シップタイムが許す範囲でデータ取得を実施する。
3. 対象海域に関しては調査海域図の赤枠内とする。
4. 原則として、船上基本処理データが提供される。
5. 複数の測線または長い測線を提案する場合には、それらの優位順位や主要計画範囲について、明確に示すこと。
6. 本「測線提案型」に、他の募集対象機器との抱き合わせで提案しないこと。必要であれば別行動として提案すること。



調査海域図